

令和3年度

わ か り や す い

決 算 書

雄武町



決算の全体像は？(1)

◎決算総額は97億7,346万円

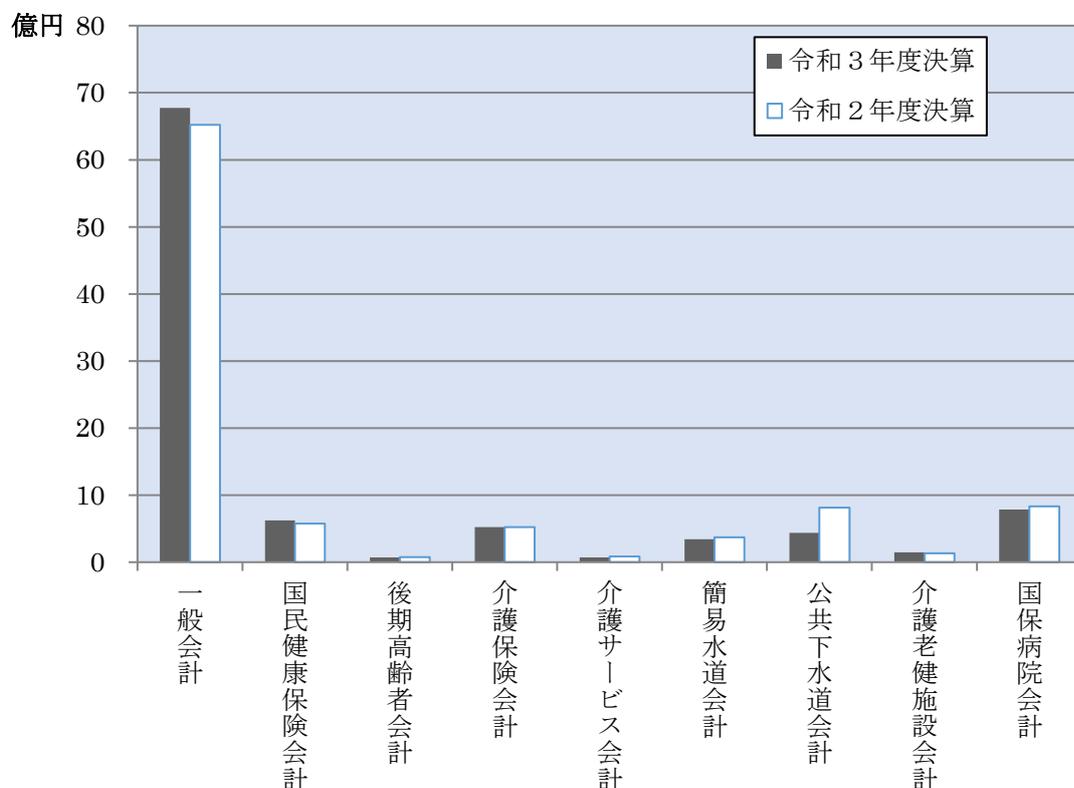
令和3年度決算総額は、97億7,346万円となっており、前年度に比べると1億6,059万円減少しました。

なお、当初予算に比べると8億2,285万円増加していますが、主な要因は公営住宅建設工事や子育て世帯臨時特別給付金等の給付、職員住宅建設工事などに伴う増額によるものです。

各会計別の決算額（歳出）

会計区分	令和3年度決算	令和2年度決算	比較増減	
一般会計	67億7,466万円	65億2,277万円	2億5,189万円	
特別会計	国民健康保険事業会計	6億2,389万円	5億7,736万円	4,653万円
	後期高齢者医療事業会計	7,221万円	7,475万円	△254万円
	介護保険事業会計	5億2,353万円	5億2,442万円	△89万円
	介護サービス事業会計	7,210万円	8,613万円	△1,403万円
	簡易水道事業会計	3億4,285万円	3億7,067万円	△2,782万円
	公共下水道事業会計	4億3,671万円	8億1,308万円	△3億7,637万円
	介護老人保健施設事業会計	1億4,482万円	1億3,362万円	1,120万円
国民健康保険病院事業会計	7億8,269万円	8億3,125万円	△4,856万円	
合計	97億7,346万円	99億3,405万円	△1億6,059万円	

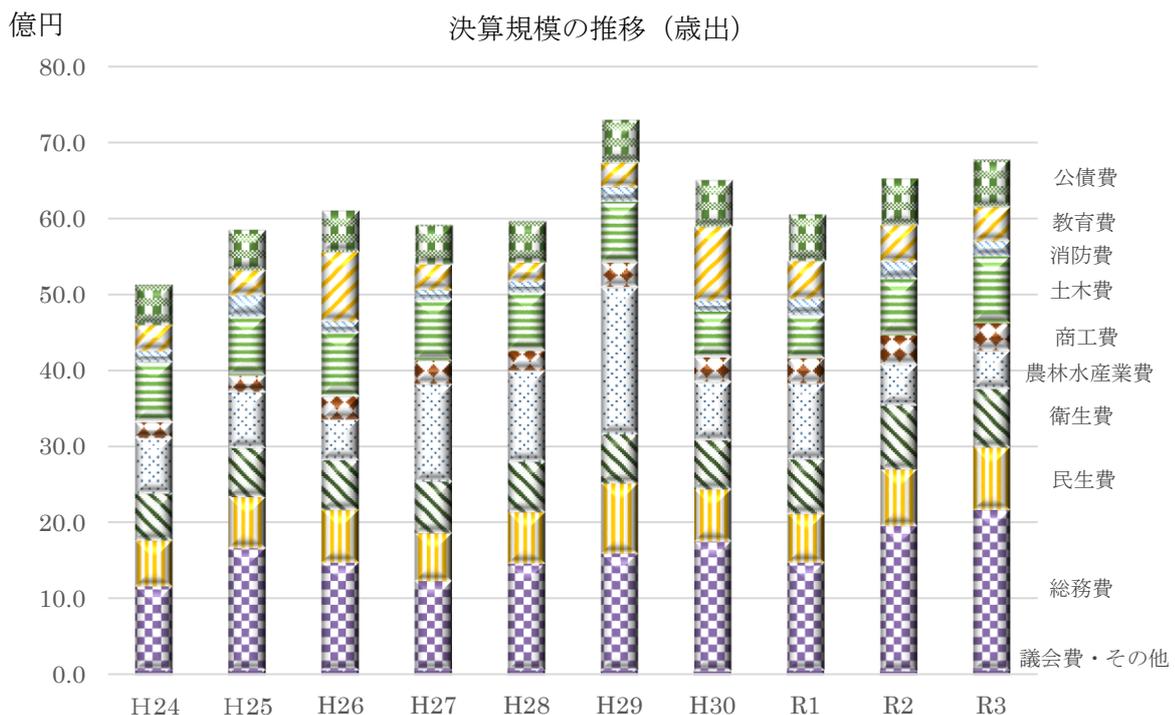
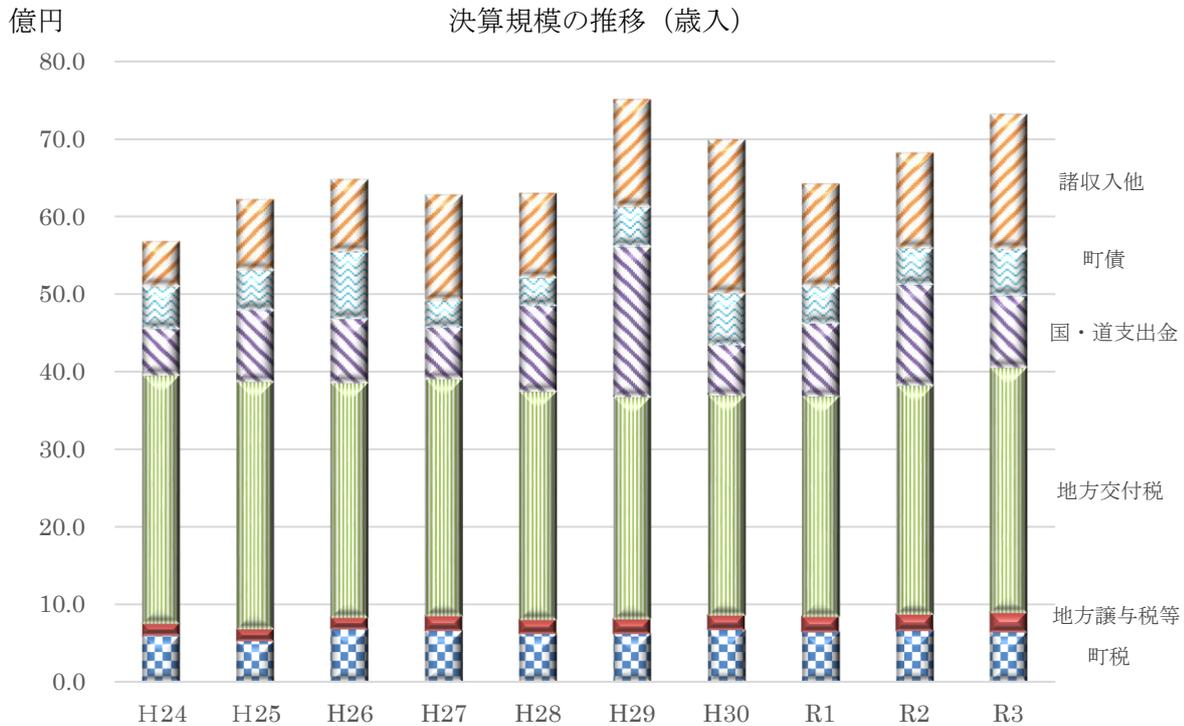
※国民健康保険病院事業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。



決算の全体像は？(2)

◎一般会計の決算規模の推移は？

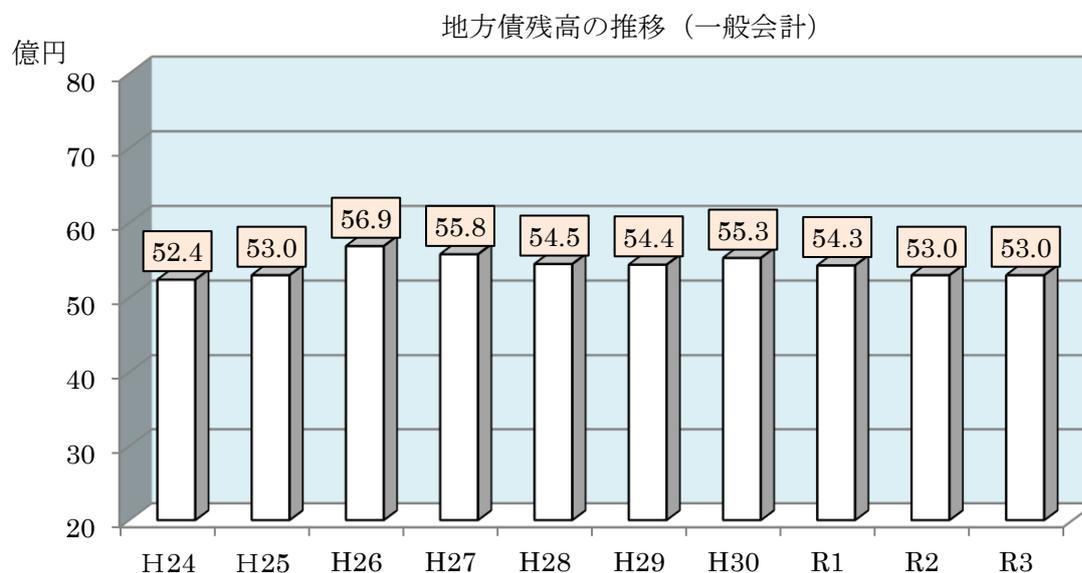
一般会計ベースで、決算規模を比較してみると、次のようになります。
歳入は73億1,722万円となり、歳出は67億7,466万円の決算額となりました。



決算の全体像は？(3)

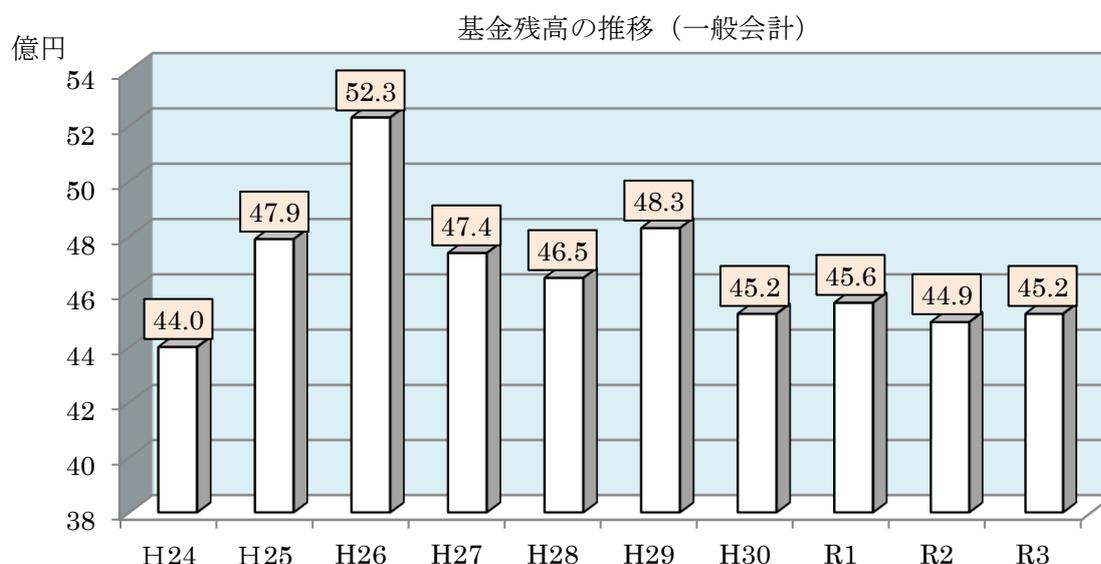
◎借入金（地方債残高）は？

一般会計の地方債残高は、ピークの平成 11 年度末で 87 億 3,674 万円でありましたが、その後の発行の抑制と償還が進んだことから、令和 3 年度末で、52 億 9,941 万円となりました。



◎もしもの貯え（基金）は？

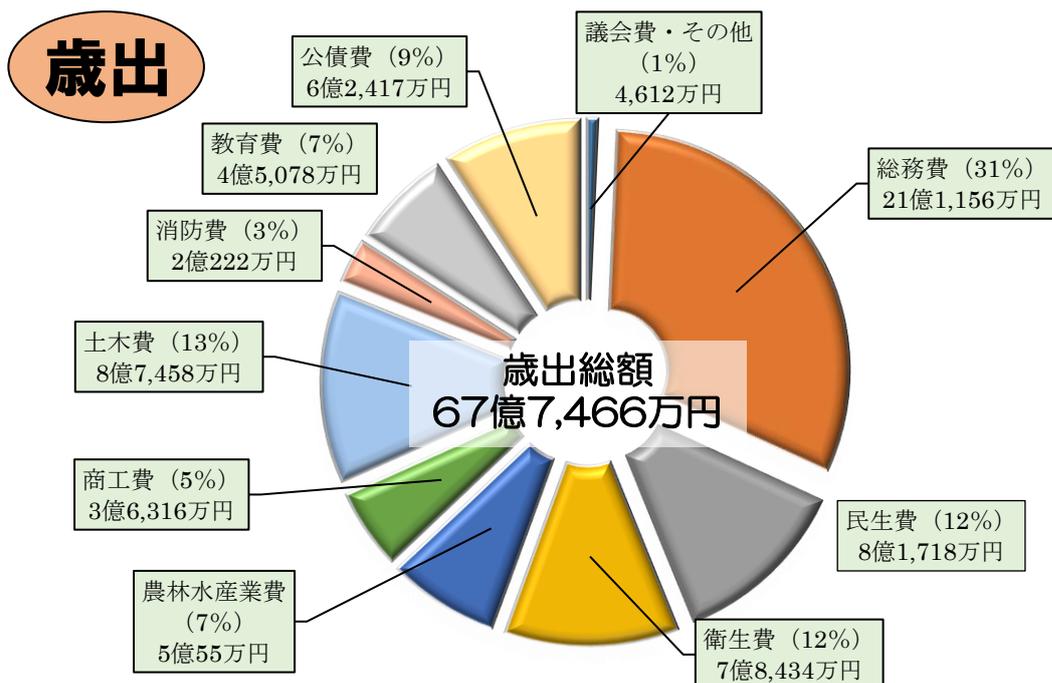
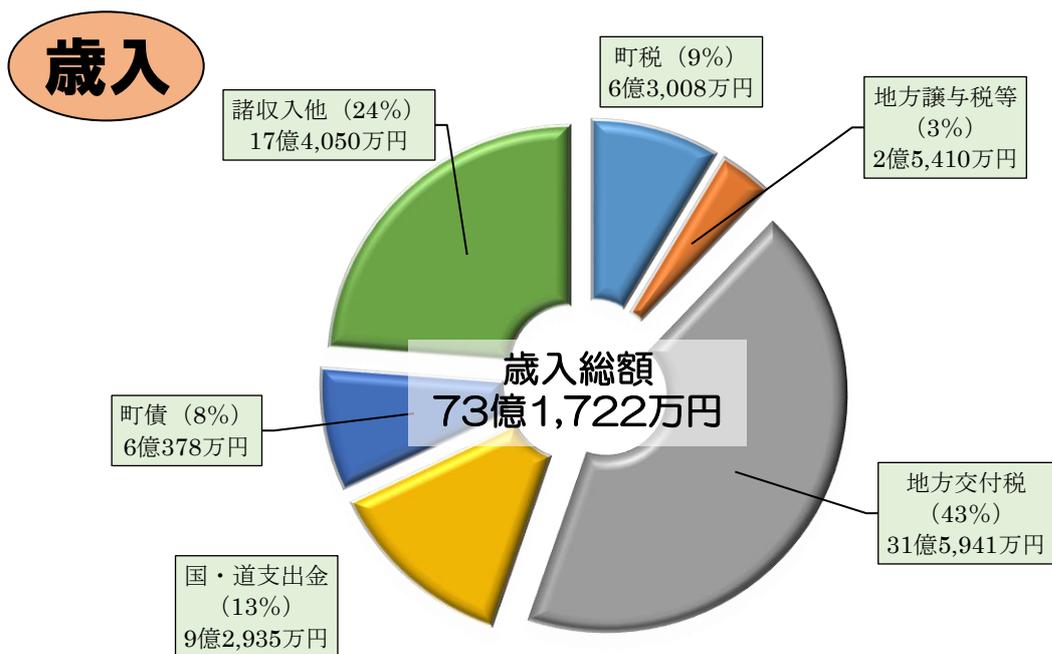
町では、災害復旧などの突発要因や財源不足に対処するため、あるいは特定の目的を持って基金を設置しています。令和 3 年度は財政調整基金及びふるさと応援基金、ホテル日の出岬施設整備基金の一部を使ったものの、ふるさと応援寄附金などの積立により、令和 3 年度末基金残高は、財政調整基金他 14 基金で、45 億 1,630 万円となりました。



決算の概要は？

◎決算の内訳は？

令和3年度一般会計の歳入は73億1,722万円となり、前年度に比べると4億9,674万円増加し、歳出は67億7,466万円となり、前年度に比べると2億5,190万円増加しました。



このようなことに使いました (1)

政策目標①

躍動感あふれる産業のまち・雄武 ～地域産業の振興と雇用の創出～

●国営緊急農地再編整備事業雄武丘陵地区

事業内容	産業振興課 農地整備係
区画整理など土地の利用を計画的に再編し、経営規模拡大を進め、生産性の向上と耕作放棄地の解消等、優良農地の確保に努めました。	決算額 35,115千円

●町有林整備事業

事業内容	産業振興課 林務係
「森林を育成していく」という目的のため、町有林の伐採、植栽、保育等を進め、森林資源の充実や生産体制の強化を図りました。	決算額 22,308千円

●水産廃棄物処理緊急改善対策事業

事業内容	産業振興課 水産係
幌内のウロ処理施設機器の老朽化に伴い、雄武水産施設利用協同組合が実施した機器更新に対し、支援を行いました。	決算額 57,700千円

政策目標②

安心感の持てる福祉のまち・雄武 ～保健・医療・福祉の充実～

●子ども医療費助成事業

事業内容	福祉給付課 保険給付係
高校卒業年度までの子どもで、健康保険が適用される医療費の初診時一部負担金を除いた額の助成を行いました。	決算額 11,394千円

●障害者自立支援給付事業

事業内容	福祉給付課 社会福祉係
障がい者(児)が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付等の支援を行いました。	決算額 151,199千円

このようなことに使いました (2)

●母子健康包括支援センター事業

事業内容 法定事業である母子(親子)健康手帳交付、乳幼児健診等に加え、妊産婦健診等交通費や不妊検査・治療費及び通院交通費等の助成を行いました。また、育児用品配布事業やハーフバースデイ祝品贈呈事業、産後ケア事業等を通して、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行いました。	健康推進課 保健係
	決算額 4,561千円

政策目標③

達成感から学ぶ教育のまち・雄武 ～教育文化の振興と拠点づくり～

●雄武高等学校存続対策事業

事業内容 雄武高等学校の存続対策及び人材育成の観点から、部活動に対する支援、町外から雄武高校に通学する費用の補助、自己研鑽して雄武高校が推奨している各種検定及び資格取得に対する助成、見学旅行への参加費用の助成金の交付など、様々な支援を行いました。	教育振興課 総務管理係
	決算額 16,440千円

●芸術文化公演事業

事業内容 舞台芸能の機会に恵まれない本町において、演劇や音楽などの鑑賞機会を支援し、生の芸術にふれる場をつくり、芸術への理解を深め地域文化の活性化を図るため、児童・生徒等を対象に公演会を開催しました。	教育振興課 生涯教育係
	決算額 1,000千円

●雄武町スポーツ振興事業

事業内容 スポーツ活動振興のため、各競技において全道大会以上に出場した個人・団体に対して必要経費の一部を助成しました。	教育振興課 生涯教育係
	決算額 1,292千円

政策目標④

快適感を満たす環境のまち・雄武 ～生活環境・生活基盤の充実～

●地域ぐるみ防災推進事業(災害備蓄倉庫建設)

事業内容 災害時に使用する物品や非常食などを適正に管理・保管するための施設として、災害備蓄倉庫を建設しました。	住民生活課 住民活動係
	決算額 36,000千円

このようなことに使いました (3)

●町道橋修繕事業

事業内容 車両等の安全な通行を確保するため、老朽化が進む町道に架かる橋梁の点検・調査や必要な橋梁修繕を実施しました。	建設課 土木管理係
	決算額 90,651千円

●公営住宅整備事業

事業内容 快適な住環境を提供するため、老朽化が進んだ公営住宅潮見団地の建替工事を実施しました。	建設課 建築係
	事業費 135,803千円

政策目標⑤

連帯感を高める協働のまち・雄武 ～協働によるまちづくりの推進～

●ふるさと応援事業

事業内容 ふるさと応援寄附金を寄附いただいた方に対して、謝礼(特産品)を贈呈し、自主財源の確保を促進させるとともに、町や特産品のPRにも繋げました。	財務企画課 財政係
	決算額 169,740千円

●街路灯LED化整備事業

事業内容 環境への配慮や節電対策を図るため、既設街路灯でLED化が済んでいない箇所のLED化工事を実施しました。	税財管理課 管財係
	決算額 5,115千円

●町民センター施設整備事業(長寿命化改修調査委託)

事業内容 利用者の安全性確保及び利便性の向上のため、町民センターの外壁調査や屋上の防水調査を実施しました。	教育振興課 生涯教育係
	決算額 1,210千円

指標で見る財政状況は？

○オホーツク総合振興局管内の財政状況（令和3年度）

（単位：％）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
雄 武 町	－ (15.00)	－ (20.00)	8.1 (25.00)	－ (350.0)
北 見 市	－ (11.56)	－ (16.56)	10.3 (25.00)	147.5 (350.0)
網 走 市	－ (13.02)	－ (18.02)	16.9 (25.00)	107.4 (350.0)
紋 別 市	－ (13.28)	－ (18.28)	9.7 (25.00)	－ (350.0)
美 幌 町	－ (13.96)	－ (18.96)	6.3 (25.00)	－ (350.0)
津 別 町	－ (15.00)	－ (20.00)	6.7 (25.00)	－ (350.0)
斜 里 町	－ (14.39)	－ (19.39)	10.9 (25.00)	66.6 (350.0)
清 里 町	－ (15.00)	－ (20.00)	8.9 (25.00)	－ (350.0)
小 清 水 町	－ (15.00)	－ (20.00)	10.4 (25.00)	－ (350.0)
訓 子 府 町	－ (15.00)	－ (20.00)	6.6 (25.00)	－ (350.0)
置 戸 町	－ (15.00)	－ (20.00)	6.3 (25.00)	－ (350.0)
佐 呂 間 町	－ (15.00)	－ (20.00)	7.9 (25.00)	－ (350.0)
遠 軽 町	－ (13.39)	－ (18.39)	9.5 (25.00)	17.5 (350.0)
湧 別 町	－ (14.66)	－ (19.66)	7.2 (25.00)	－ (350.0)
滝 上 町	－ (15.00)	－ (20.00)	6.3 (25.00)	－ (350.0)
興 部 町	－ (15.00)	－ (20.00)	7.9 (25.00)	－ (350.0)
西 興 部 村	－ (15.00)	－ (20.00)	9.5 (25.00)	－ (350.0)
大 空 町	－ (14.74)	－ (19.74)	10.0 (25.00)	－ (350.0)

注 1 () は各市町村の早期健全化基準。市町村ごとの財政規模に応じて、実質赤字比率は 11.25%～15.00%、連結実質赤字比率は 16.25%～20.00%の範囲となる。実質公債費比率は 25.00%、将来負担比率は 350.0%で全市町村一律の基準となる。

注 2 「－」は実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率が発生していない。

用 語 の 説 明	
実質赤字比率	一般会計の赤字度合いを表わした比率です。
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計及び公営企業会計の全会計を合算して、赤字度合いを表わした比率です。
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3ヶ年平均）です。
将来負担比率	将来、支払っていかねばならない地方債や負担しなければならない債務を、標準財政規模と比較して表わした比率です。

わかりやすい決算書(令和3年度決算)

編集 雄武町役場財務企画課

発行 令和4年11月